

# 財政投融资特集

## 特集のこ と ば

財政投融资は、財政投融资計画に基づいて行われる資金の運用と、資金運用部資金による国債の引受けからなっている。6年度財政投融资計画は、47兆8,582億円となっており、一般会計予算73兆817億円に対し65.5%の規模となっている。

財政投融资は、戦後の復興期及び高度成長期には基幹産業の復興・近代化、産業基盤の整備に貢献し、また、昭和40年代以降は住宅、中小企業等国民生活の安定向上等のために重点的な資金配分を行うとともに国、地方の財源不足という事態にも弾力的に対応する等、時々の経済情勢や社会的要請に即応して、重要な役割を果たしてきている。

6年度財政投融资計画の編成にあたっては、景気に配慮するとともに、国民生活の質の向上等の政策的諸要請に的確に対応できるよう財政投融资の活用を図ることとするの考えに立ち、住宅対策、中小企業対策、地域の活性化などの政策的要請に対し、重点的・効率的な資金配分に努めており、その結果、6年度財政投融资計画（郵便貯金特別会計等の資金運用事業に対する融資を除く一般財投）の規模は、39兆4,082億円で対前年度計画比7.7%増となっている。

財政投融资が我が国経済や国民生活に与える影響は極めて大きく、それだけに国民の関心も高まってきており、このような時期に「財政投融资特集」が編集されることは極めて有意義なことと考える。

平成6年7月

大蔵省理財局資金第一課長

寺 澤 辰 磨